



2023年9月11日

株式会社立花商店 生田 渉

## (新) 週刊カカオニュース第82号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。今週のカカオニュースを配信させていただきます。

### 1. ガーナのカカオ生産者、農園出荷価格の約73%値上げを要求(9/8) \*発表前

ガーナのカカオ生産者は、62kgのカカオ豆一袋の農園出荷価格を GHS1,380.00 にするよう要求している。

Ghana Civil Society Cocoa Platform (GCCP)は、この値上げはガーナの西と東の国境沿いでのカカオの密輸問題を止めるのに役立ち、生産者をコスト上昇から緩和すると主張している。

これは、ガーナのカカオセクターの規制機関である Cocobod が、来たる 2023/2024 年のカカオシーズンの新価格を数日中に発表する準備を進めていることを受けたものである。

カカオ生産者の利益を代表する GCCP の発言を引用すると、「ガーナのカカオ生産者は国際カカオ市場価格が上昇し始めたと同時に、自由化されたカカオ販売方法を採用している近隣諸国が生産者出荷価格を大きく引き上げたことに気づきました。例えば、今年のある時点で、トーゴではカカオ一袋が GHS1,500 (ガーナの2倍) で売られるようになり、カカオの密輸という悪質な活動に拍車がかかってしまった」

記者会見でレティシア・ヤンキーという生産者は、ガーナの実産者は最低でも1トンあたり GHS22,080 を受け取るべきだと固く信じていると述べた。これはカカオ豆1袋(62.5kg)あたり GHS1,380 に相当する。

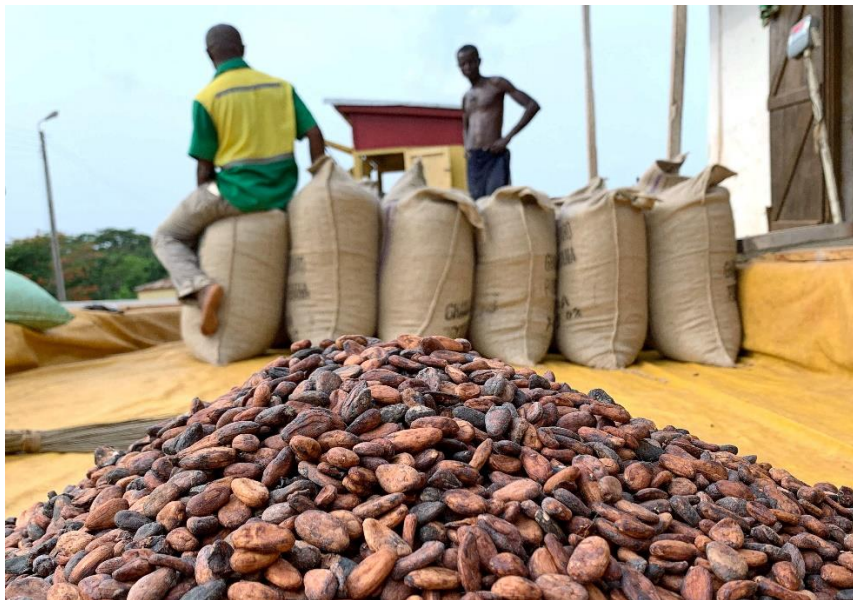
「2023/2024年のカカオシーズンにおいて、ココボッドが400ドルのLID(Living Income Differential)を全て生産者に渡し、生産者出荷価格が1トン当たり2,162ドル(1袋当たり135ドル)になると仮定し、前年比のガーナ銀行の為替レート1ドル≒GHS10.2だとすると、カカオ生産者はカカオ豆1トン当たり22,080GHS以上の収入を得ることになる。彼女の意見では、規制当局は生産者への支払いを容易にできるはずだと推測している。政府が最後にカカオ豆の価格を引き上げたのは2020年で、1袋あたりGHS660からGHS800へと21%引き上げた。

### 2. ガーナ、供給逼迫に伴い2023/2024年のカカオ農園出荷価格を引き上げ(9/10) \*発表後

ガーナは9日、生産者の収入を増やし、供給が逼迫して豆が高値で取引される近隣諸国に密輸されるのを防ぐため、生産者に支払われる国家保証のカカオ価格を63%以上引き上げた。

**ナナ・アクフォード大統領は、9月から始まる2023/2024年のシーズンにおいて、生産者は1トン当たり20,943ガーナ・セディ(1,837ドル)を受け取ることにすると発表した。**

西部テパのカカオ生産地区で行われた新カカオシーズン開始式で、アクフォード氏は、新価格は過去50年以上で西アフリカ全域の生産者に支払われた最高額であると述べた。



新シーズンの高値を予測して保留していたカカオ豆在庫の様子。この在庫が早々に動き出すか。Sunyani 近くの農園。

チョコレートの主原料の約70%を生産しているこの地域からの供給が逼迫しているという懸念から、カカオ先物はここ数週間で46年ぶりの高値をつけた。

ロンドン市場の12月限ココアは、1977年以来の高値となる1トンあたり3,053ポンド(3,805ドル)をつけた後、金曜日には73ポンド(2.5%)高の3,050ポンドとなった。西アフリカの黒いさや病などの作物問題が、現在の2022/23年シーズン(10月/9月)に予想される世界的な大幅な赤字の一因となっているため、市場は6月下旬以降、最高値を更新している。

「安定した価格が予測される中、政府は今後も生産者に良い価格を提供し続けます」と、アクフォーアドは歓声を上げ踊る生産者の群衆に語った。

2022/2023年シーズンのガーナのカカオ農園価格は、世界一のカカオ生産国である隣国コートジボワールに比べ、通貨セディ安とカカオ農園価格の下落により、豆がコートジボワールとトーゴに密輸された。この密輸によりガーナの総生産量は予想を下回り、政府はシーズン終了を1ヶ月早め、新シーズンの開始を10月から9月に前倒しせざるを得なくなった。

「価格差は解消され、コートジボワールとトーゴにカカオを売っても採算が合わなくなりました」と、独立擁護団体Ghana Civil Society Cocoa PlatformのLeticia Adu Yankey氏は述べた。

規制当局COCOBODの広報責任者であるFiifi Boafo氏は土曜日のロイター通信に対し、ガーナは農園価格の上昇後、2023/2024年シーズンの生産量を82万トンとすることを目標としていると述べた。同氏によると、ガーナは今シーズン、密輸やカカオ農園を破壊する“ガラムジー”として知られる職人による金採掘により、約15万トンの豆を失ったという。

Boafo氏は、ガーナは年間のカカオ購入のために12億ドルの借金を計画していると付け加えた。8億ドルは銀行のシンジケート団から、4億ドルは他の資金源から調達する予定だ。西アフリカのもう一つのカカオのトップ生産国であり、世界第4位のカメルーンは、木曜日に2023/2024年シーズンの農園出荷カカオ価格を25%引き上げ、1kgあたり約1,500CFAフラン(2.45ドル)とした。

参考) 1ドル=11.4000ガーナセディ、1ドル=0.8023ポンド、1ドル=612.5300中央アフリカCFAフラン BEAC)

### 3. アフリカ ココア：豪雨によりトップ生産国で害虫の被害が増加(9/4)

- ・カメルーンでは大雨のため生産者が農園に入れない。

- ・ガーナの生産者は価格上昇を期待して豆を手控える

西アフリカのトップカカオ生産国の一部では豪雨が病気の蔓延を助長しており、他の地域では不規則な降水が生産見通しを悪化させている。

主にカカオの木に感染する植物病原性ウイルス「Swollen shoot」がコートジボワール西部で発生している。しかし、ブアフレの生産者によれば、今現在、急速に広がっているわけではない。一方、コートジボワール南部では雨がカカオの花を咲かせているが、10月に始まる豊富な収穫に十分かどうか、生産者は心配している。

カカオ先物相場は、エルニーニョ現象による供給制約を背景に、今年ロンドンで約40%上昇した。これはチョコレートメーカーのコスト上昇につながる可能性がある。

不規則な天候も、降雨量が多すぎるカメルーンでは依然として懸念材料となっている。「メインクロップのシーズンは原則的に始まっているが、雨が多すぎるため生産者は農作業ができない」と、中央部の栽培地域であるオバラの生産者、アンリ・ミシェル・アタンガナは電話で語った。沿岸部と南西部の生産地帯では、大洪水で道路が破壊され、港町ドゥアラから生産者が必要とする農薬や肥料等の資材の供給が滞っている。

ナイジェリアでは、南東部のカカオ産地で雨が少ない。南西部では、害虫が樹木や葉を食害しており、新鮮な花が早期に芽吹く見込みが薄れている。

コートジボワールとの国境に農園を所有するニコラス・ラドボ氏によると、世界第2位の生産国であるガーナでは、9月8日に始まる収穫期に向けて、生産者出荷価格の上昇を期待して豆を備蓄している生産者もいるという。

#### 4. コートジボワール、EUバイヤーに倫理的カカオのコスト負担を求める(9/7)

- ・コートジボワールは来週ブリュッセルに代表団を派遣し、協議を行う。
- ・カカオのトップ生産者、フォワードセールスを再開する前に取引を希望 By Baudelaire Mieu

コートジボワールは、カカオを持続可能なものにするためのコストを富裕層の消費者に負担してもらいたいと考えており、それが実現するまで新たな販売契約を結ぶのを控えると脅している。

この計画に詳しい関係者によると、世界トップのカカオ生産国のコートジボワールは9月11日、業界規制当局から代表団を派遣し、ブリュッセルで欧州委員会と交渉する予定だという。欧州連合(EU)は6月、森林破壊を防止するための新たな規則を採択したが、コートジボワールは、そのコストを誰が負担するのかを心配している。

この合意は、2023-24年のカカオ販売再開と2024-25年の契約開始の条件となる。コートジボワールは7月、来月から始まるシーズンの先渡し販売(フォワードセールス)を停止した。

EUの法律では、輸出業者はヨーロッパへの供給が森林破壊された土地で栽培されたものでないことを証明する必要がある。サプライヤーは18ヶ月から24ヶ月の猶予がある。EUは通常、コートジボワールの最大のカカオ市場である。

カカオ業界の業界規制機関Le Conseil Cafe-Cacaoのイヴ・コネ専務理事の広報担当者は、同氏がブリュッセルで一連の会議に出席することを確認した。その目的は、輸入される森林破壊に関するEU規制とデューデリジェンス指令に関するアドボカシーを強化することだという。

欧州委員会のスポークスマンは、この協議についてすぐにはコメントしなかった。どのような取引が実際に機能するかは不明である。

来月から始まるコートジボワールの今シーズンのフォワードセールスは、停止前の時点で130万トンであった。

一方、西アフリカのカカオベルト地帯の悪天候により、世界のカカオ供給は逼迫しており、市場は3年目の赤字になる勢いである。コートジボワールのメインクロープ収穫量は2023-24年には約20%減少すると予測されている。

コートジボワールとともに世界のカカオの3分の2を生産するガーナは、今年初め、トレーサビリティ規則を遵守するためのシステム構築の負担に対する共通の支払い方法を見つけるために、隣国と協議を行った。両国は、EUの新基準への完全準拠にどれだけの費用がかかるか、まだ検討中である。欧州委員会によれば、この規則は気候変動と生物多様性の損失との闘いを支援することを目的としている。欧州委員会は先月、この規則は懲罰的でも保護主義的でもなく、公平な競争条件を作り出すものだと言った。

## 5. カメルーン、2022-23年のココア生産量は前年比11.2%減の26万2112トン(9/7)

チョコレート原料の世界第5位の生産国であるカメルーンの2022年8月から2023年7月までの収穫量は、前シーズンの29万5,164トンから26万2,112トンに減少したと、木曜日の新シーズン開始を前に国立ココア・コーヒー委員会が電子メールで発表した。

- ・前シーズンの638契約に対し、550契約が登録された。
- ・年間輸出量は、前シーズンの228,920トンに対し、18.4%減の186,754トンとなった。
- ・輸出先はヨーロッパ、アジア、アメリカの14ヶ国/18港であった。
- ・輸出額は2,649億CFAで、前年は2,859億CFAであった。
- ・現地でのカカオ磨砕数量は89,204トンであった。
- ・農園出荷価格の最高値は1kg 1,290 CFA (≒2.1米ドル)、最低値は750 CFA (≒1.22米ドル)であった。

カメルーンでは国内の10地域のうち8地域で約60万戸の生産者がカカオを生産している。カメルーンのカカオシーズンは毎年8月1日から7月15日までである。

## 6. フランスのチョコレート・グループ、カメルーンのカカオに11.5%の追加支払いへ(9/7)

フランスの洋菓子協会のチョコレート職人が中心となって、組織するショコラティエ・エ・コンフィズール連合 (Confederation des Chocolatiers et Confiseurs de France) は、カメルーンに6つの認定カカオ豆センター (カカオ・センター・オブ・エクセレンス) からカカオ豆をキログラム当たり1940CFA\*3、16ドルで購入する予定だと、カメルーン・カカオ・コーヒー専門家間協議会のコミュニケーションオフィサー、イブ・アビッシ氏が語った。

フランスのグループは2022-23年シーズンには1kgあたり1,740CFAでセンターから豆を購入しているとアビッシ氏は電話で述べた。これらのカカオ豆は、フランスのチョコレート職人に販売され、生産者にプレミアムが支払われる。

\*カカオ・センター・オブ・エクセレンスは、中央アフリカのカカオ豆の品質を向上させるためにCICCとフランス政府によりにより設立されたカカオ豆の発酵・乾燥センター

## 7. タンザニアのココア輸出額、7月までの1年間で11%増加(9/8)

タンザニアのカカオ輸出額は7月までの12ヶ月間で前年比11%増加したと、同国中央銀行が木曜日に発表した。東アフリカの国家で高品質のカカオを生産する同国は、2930万ドル相当のカカオ豆を輸出し、前年同

期の 2650 万ドルから増加したと同銀行は月例経済レビューで発表した。販売量と平均価格は公表されていない。

農務省によると、タンザニア政府は国際的な需要が高まる中、カカオの生産量を増やすことを目指している。タンザニアのカカオ販売シーズンは毎年7月から6月30日までである。

## 8. ネスレ、ブラジルのチョコ会社グループ CRM の過半数株式取得へ(9/7)

スイスの食品大手ネスレは、ブラジルのチョコレート会社グループ CRM の過半数株式を取得することで米プライベートエクイティ (PE) 投資会社のアドベント・インターナショナルと合意したと発表した。取得額は非公表。ネスレは、この取引によってブラジル市場のハイエンド・セグメントへの参入が可能になると述べた。グループ CRM は、「コペンハーゲン」と「ブラジル・カカウ」のブランドで 1000 以上のチョコレート専門店を運営し、オンラインでの存在感を高めているという。レナータ・モラエス・ビチ氏は引き続きグループ CRM の最高経営責任者 (CEO) を務め、少数株主にとどまるとしている。

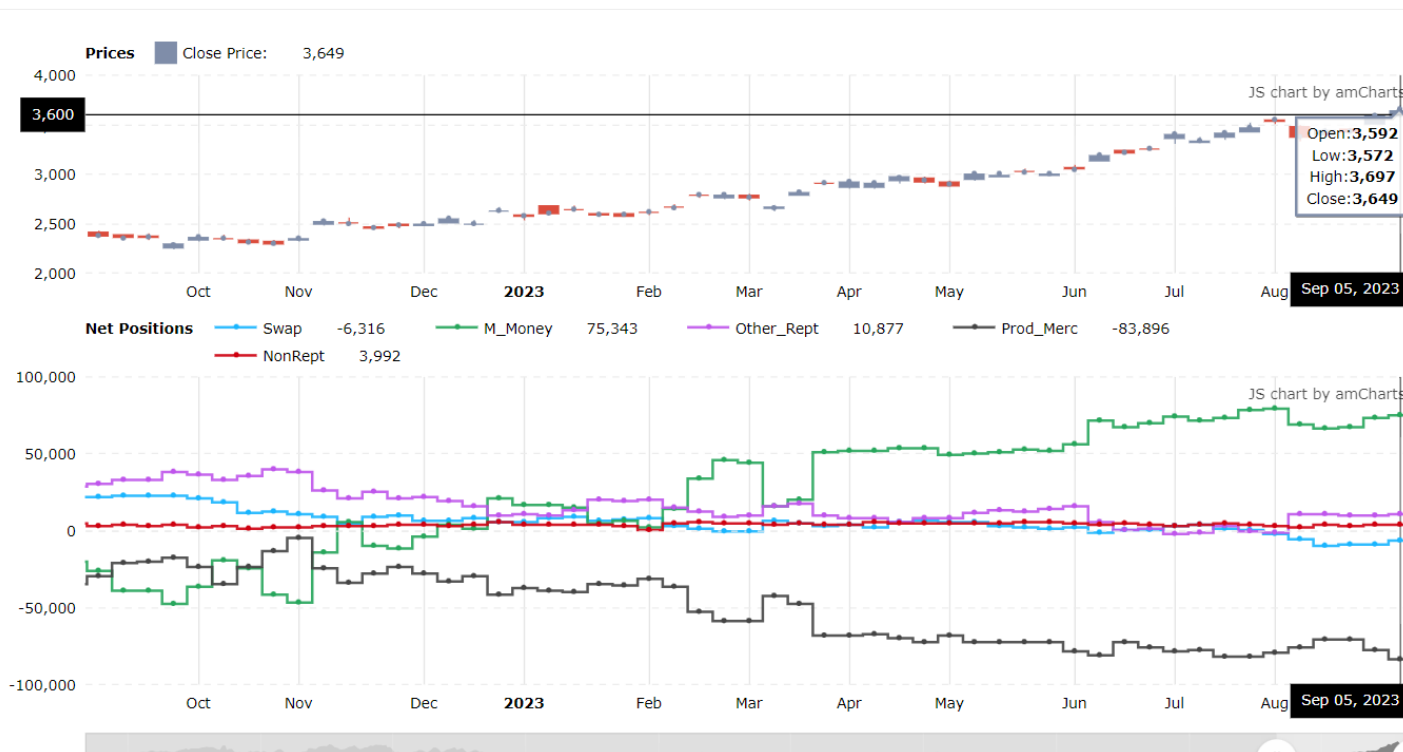
## 9. ファンド勢のNY先物は買い越しポジションが増加(9/9)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 2,032 ロット増加させ、77,314 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、9月5日) の取引が含まれている。

- 純買い越し数量は過去5週間でもっとも強気 (多い) の数字。
- 総買い数量は **3,195 ロット増加、113,046 ロット** となった。
- 総売り数量は **1,263 ロット増加し、35,732 ロット** となった。

## 参考分析資料；過去1年のNY市場の実需家VS投機筋のポジションと相場価格

### Prices & Net Positions



黒線・・・カカオ磨砕業者やチョコレート製造会社など実需家

緑・・・ヘッジファンドなどの資金運用者

水色・・・投資銀行などスワップディーラー

## 10. ファンド勢のLDN先物は純買い越しポジション増加。(9/9)

ロンドンのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、先週の買い越しポジションを2,494 ロット増やし、66,573 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週の数字で言えば、9月5日)の取引が含まれている。

- 総買い数量は今週2,566 ロット増加し、70,672 ロットとなった。
- 総売り数量は今週72 ロット増加し、4,099 ロットとなった。

### 参考) ロンドン市場の主要なプレイヤーのポジション状況

#### Commitments of Traders Futures and Options

##### ICE Futures Europe

05/09/2023

MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money		
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
05/09/2023	447607	248371	259380	10343	74514	38981	70672	4099	13925
<b>Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader</b>									
05/09/2023	100%	55.5%	57.9%	2.3%	16.6%	8.7%	15.8%	0.9%	3.1%
<b>Number of Traders in Each Category</b>									
05/09/2023	166	46	42	14	12	14	49	5	23

\*本レポートの内容は、作者の個人的意見や英語での情報ソースを翻訳したものであり、目的はカカオ、チョコレート全般の情報をシェアする事であり、一切、お客様や読者様への投資の判断を促すものではありません。値決めやココアの投資に関する判断に関する助言とは異なります。カカオトレードにおける判断、意思決定は各法人様、個人様の責任において実行していただきますようお願い申し上げます。